

東京大学 産学連携組織“十ノ量子情報エレクトロニクス研究機構” を設置

協働企業:

シャープ株式会社、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、株式会社富士通研究所

司会: 町田友樹 生産技術研究所・助教授

事前説明: 岩本 敏 先端科学技術研究センター・講師



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

NanoQuine
QUantum INFORMATION Electronics

東京大学ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 概要

・研究開発の背景と目標

- 情報量の爆発的増大にともない、情報の効率的かつ安全な利用が不可欠
- 超ブロードバンドネットワーク、高セキュリティ情報ネットワークの必要性
- 量子ドットレーザをはじめとする次世代エレクトロニクス開発
および量子情報デバイス・システムの基盤技術開発

・機構の組織

- 機構長: 荒川泰彦(東大先端研・生研 教授)
- 企画委員会、運営委員会
- 研究開発部門
- 東大-企業ラボ群(T型連携拠点)
- 教育・人材育成委員会

・研究開発の取り組み

- 1) ナノ量子情報エレクトロニクス
- 2) 次世代ナノエレクトロニクス
- 3) 量子情報科学技術基盤

・拠点化システム改革への取り組み

- 1) 部局の枠を超えた研究開発、大学の枠を超えた国内外機関との強力な連携
- 2) T型連携拠点構想などの新たな産学連携形態
- 2) 人材育成・知的財産に関する新たな取り組み

ナノ量子情報エレクトロニクス研究機構 組織図

